

平成 28年度 高松市事務事業評価表 (事中・事後評価)

事務事業名	不法投棄防止対策事業		
部 局 名	環境局	課(室)名	適正処理対策室
		電話番号	087-839-2370

【事業全体概要】まちづくりの目標：人と環境にやさしい安全で住みよいまち

総合計画	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		主体	市	
	施策	不法投棄の防止		期間	平成 27年度～平成 28年度	
	基本事業	不法投棄防止対策の推進		総事業費	345,961	
重点取組項目				特定財源	国	1,669
関連根拠法令等					県	11,444
事業区分		自治事務	種別	事中・事後	市債	
事業種類		補助			他	3,894
				一般	328,954	

事業の概要  
市内全域、特に不法投棄が多く見られる山間地や海岸線などを職員による監視パトロールを実施するほか、不法投棄監視カメラを設置することにより、不法投棄の未然防止に努める。  
さらに、監視エリアの表示看板を立て、不法投棄防止の啓発を行うとともに、不法投棄の行為者の調査・指導を行い、不法投棄されているごみについては、早期撤去に努める。

【事業の目的と指標】

対象	高松市内全域及び不法投棄が見られる地域	対象指標名	
		不法投棄多発地区数	
手段	市内全域における不法投棄防止監視パトロールの実施や特に不法投棄が多く見られる地域には監視カメラを設置する等、不法投棄防止対策の強化を図る。	活動指標名	
		不法投棄防止監視パトロール回数	
意図	不法投棄を防止するとともに、市民の環境美化意識の高揚を図ることによって、清潔で美しい高松を実現する。	成果指標名	
		不法投棄書類送検件数	
結果	市民の環境美化意識の高揚を図り、清潔で美しい高松を実現することによって、人と環境にやさしい安全で住みよいまちづくりを推進する。	効率指標名	
		総事業費におけるパトロール件数	

【指標値および事業費の推移】

指標名	単位	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	目標値	目標年度
対象指標	地区	46	46	46	46	
活動指標	回	176	121	121	120	
成果指標	件	14	30	22	20	
効率指標	件	176	121	121	120	
トータルコスト	[千円]	37,602	38,328	38,249		
(事業費)	[千円]	1,402	1,423	1,344		
(職員人件費)	[千円]	36,200	36,905	36,905		

【環境変化等】

開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
市内各所でポイ捨てごみの散乱が見受けられ、対策を望む声が寄せられていた。 また、山間部や海岸部では、粗大ごみの不法投棄が後を絶たない状況であり、地元からも対策を望む声が寄せられていた。	監視パトロールによる不法投棄ごみの早期発見、早期撤去や警察等の関係機関と連携することで、不法投棄は、減少してきたが、依然として不法投棄は無くなっていない。	地域住民の環境美化意識は向上してきており、成果は出ていると思われるが、依然として不法投棄は無くなっていないため、事業の継続・拡充が必要である。	不法投棄対策への要望も非常に多く、事業を継続することで環境に対する意識向上や啓発になる。

【妥当性評価】

1. 事業の実施主体として市の関与は妥当か B 現段階では市による実施が妥当である 環境美化活動を推進し、美しいまちづくりを実現するため、市の関与は必要であり、不法投棄防止対策は、市が協力するべきものとする。
2. 事業の上位目標である施策に貢献しているか A 貢献度が大きい 清潔で美しいまち高松の実現と環境美化・保全の意識向上に多に貢献している。
3. 成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図（目指す状態）を拡充・縮小する必要があるか B 必要性は中程度 地域住民や国・県等の連携機関との連携を強化し、不法投棄防止対策に努める。
4. 事業を廃止・休止した場合に影響があるか A 影響は大きい 地域住民との協働による部分が大きい事業であり、廃止・休止は美しいまちづくりを目指す本市としては、イメージダウンを招く。
5. 市民協働の実施状況はどうか（どのような市民参画・市民活動との連携等を実施したか） A 事業のプランづくりの段階からNPO、市民団体が参加している 地域住民と協力し、クリーン作戦を実施した。

【有効性評価】

6. 事業の成果（成果指標値）を向上させる余地はあるか C 向上余地が考えられる（大） 休日パトロールを継続して実施するとともに、重点的にパトロールするコースを必要に応じて随時見直し等、事業の効果的な実施を行う。
7. 事業執行上の見直しを行ったか（昨年度何か業務の見直しを行ったか） A 実施済み / 実施する必要がなかった 新たに監視カメラを設置するとともに、監視パトロールのコースや体制を見直し、より効率的な監視パトロールを実施した。
8. 成果目標値に対する実績値（達成度）はどうだったか C 概ね達成できた 市民の環境美化意識は高まりつつあるが、依然として、心無い者の不法投棄は絶えず、目標値は達成できなかった。

【効率性評価】

9. 成果を達成するための活動量（活動目標値に対する実績値）はどうだったか C 概ね達成できた 活動量は、十分であった。
10. コスト縮減ができたか B 縮減できた 事業費については、最低限度の実用経費であり、現状ではコスト縮減は、困難であるが出来るがぎりの縮減を行った。

【一次評価】

評価区分	継続																						
市民の不法投棄はしない・させない・許さないの環境意識が高揚してはいるものの、なおごく一部の者による不法投棄が後を絶たない状況であるため、この事業を継続することにより、市内全域における不法投棄監視パトロールの強化や、不法投棄監視カメラの設置を行うなど、不法投棄の撲滅に向け最善の対策を講じていかなければならない。																							
改革案																							
内容	不法投棄対策については、環境省が作成した罰則を強調した抑止型の看板と市適正処理対策室が作成した対応型の2種類の看板を、設置者の要望や意向などを確認しながら、景観にも配慮し、より効果的な看板を設置するなど柔軟に対応していく。また、今年度以降も、不法投棄防止監視カメラを効果的な場所に設置を行う。																						
阻害要因	阻害要因なし																						
期待効果	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

【二次評価】

評価区分	継続
市民に不法投棄に関する環境意識啓発を実施しているが、依然として、一部の者による不法投棄が後を絶たない状況であるため、市内全域における不法投棄防止監視パトロールの実施や、不法投棄防止監視カメラの設置を行うなど、不法投棄の撲滅に向け、今後とも、継続して実施していく必要がある。	